

会報 京都マイコン研究会

第77号

(通算94号)

1993年12月1日 発行

発行人 圓口佳昭

トビックス or ニューズ

第21回

パーソナルコンピュータ利用技術認定試験

「パソコン認定試験」が実施されます。京滋地区の京都試験会場の監督を京都マイコン研究会が会場の試験官として、次世代を担う人の為にお願いいたします。とくに、今回は1級・2級・3級・4級と全ての試験が実施されます。

記

日時：12月5日日曜日(試験時間10:00分)
 集合時間：当日8:30分に会場に必着
 会場：
 京都中小企業会館(西大路五条下る東側)
 TEL (075) 314-7171

受験者	午前	82名	1級15名
			3・4級51名
			4級16名
	午後	119名	1級15名
			2級53名
			3・4級51名

812会議室

704会議室

703研修室

を分割使用して行います。

会告!!

1. 11月6日 (PM.6:30) 例会報告 場所 大山崎ふるさとセンター

11月例会参加氏名
 若林、溝口、中西洋、若井、岩井
 河原、中辻、上田、増田、圓口、武田
 の11名でした。

2. 内容

6:30~7:00	マイコンサロン
7:00~8:30	会員紹介
8:30~9:00	質問その他

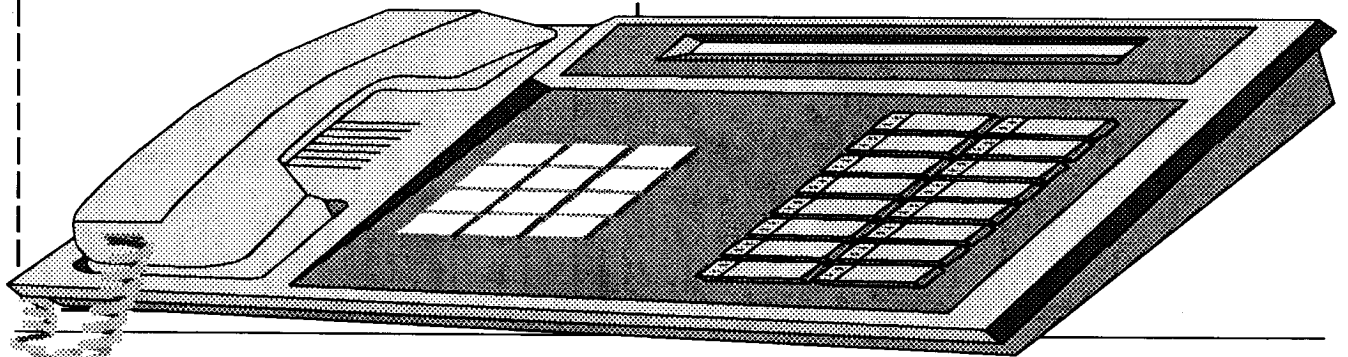
★ 次回例会 ★

開催日 12月4日(土)
 場所 大山崎ふるさとセンター
 開催時間 PM.6:30~

次号の予告記事

溝口さんへMS-WindowsからのFAX送信ソフトの紹介とFAX/MODEMについて、体験談の記事を送ります。このリストに増田さんや溝口さんのFAX専用機に多大の援助を戴いたことに感謝しています。

(Tomoppy)



TRONが生きている。 (PCVAN/98CLUB) からの転載

#2898/2931 ソフトウェア

★タイトル (ARH89175) 93/10/24 5:13 (29)

「BTRON」IBM互換パソコンに移植 せいたか

★内容

日本工業新聞、10月22日付の一面に記事が載っています。
ソフトウェア開発会社のパーソナルメディアは自社のBTRON-OSである「1B-OS」をOADG規格のIBM互換パソコンに移植し、OADG各社にライセンス供与を働きかけていくそうです。また、来春には自社でも互換機に搭載して発売するそうです。

パーソナルメディアは、91年からOEM供給を受けた松下のパソコンに1B-OSを実装して、1B/noteとして、発売しています。後に、1B/desktopも追加しています。最近では、富士通のFMR-50シリーズ用に1B-OSを発売しました。アスキー11月号によりますと、イネーブルウェア機能、基本文書エディタ、基本図形エディタ、通信ソフト、電子手帳ソフト、各種ユーティリティが付いて7万円だそうです。

BTRON-OSは、障害者にも使いやすいようにするために、シフト動作の必要なキーをロックする機能やキー入力の有効時間・無効時間の設定機能、手が震えてもウィンドウの移動や変形といった操作が楽にできるようにウィンドウの枠やタイトルバーの太さを自由に変えられる機能などが盛り込まれたイネーブルウェアを標準で実装しています。イネーブルウェアのために、音声読み上げ機能も研究されており、近い将来実装されることになるでしょう。なんと、図形を読み上げる機能も研究されています。

また、実身仮身モデルというデータ構造を採用し、ハイパーテキストを構成し、これが使いやすいようです。私は5年くらい前から注目しているのですが、残念ながらまだ持っていません。早く98にも移植されないかな。将来的には、TRONチップを搭載したマシンを購入したいと思っています。

せいたか
(Tomopy)

CD-ROM装置のリード転送速度について (PCVAN/WINDOWSからの転載)

#1052/1075 ハードウェア関連

★タイトル (EYH97005) 93/10/26 8:19 (18)

WINDOWS 2 (おちゃら) さんへ (TOMOPPY)

★内容

おちゃらさへ突然の呼び掛けで失礼します。
先般、某ショップでがらくたの中から、WINDOWS版 CD-ROM盤でCD-ROM装置の性能やスクリーン画面の描画速度など表示するAP、「MPC Wizard: Test & Tune-Up CD-ROM Disc for Windows」なる物(但し、IBM-PC用)を手にいれました。それを用いて友人のCD-ROM装置の読み取り速度を測りました。(但し、数値は正確なメモでなく、記憶です。)

CD-ROM機種	パソコン名	読み取りアクセス時間 (ミリ秒)
ICM CD-500E	PC9821 As 33MHz	340KB
NEC PC CD-50	PC9821 As 33MHz	150KB
ELECOM ECD-500	PC9801 DA 20MHz	240KB

何時か機会があれば、CD-ROMのベンチマーク・テストを希望したいですね。

#1054/1075 ハードウェア関連

★タイトル (WINDOWS2) 93/10/26 12:1 (44)

CD-ROM BENCH] TOMOPPYさん おちゃら

★内容

突然の呼び掛けをありがとうございます。(^^)
がらくたの? 中から拾い物をしましたね。こういうのってすぐもうけた感じがするよね。

さてCD-ROMですが、Windowsのばかでかいアプリケーションの供給媒体とかCD-ROMを利用した大きなデータの供給媒体としてこれからますます発達すると思います。まだいくつか問題もあり、例えばシーク速度の向上、転送スピードのUP、ReWritableな機器の低価格化、媒体の小型化、容量の増大、等等改善すべき点も多いのですが、既存の音楽用CD-ROMと媒体が共通なためその使い易さと価格の安さが普及の大きなポイントになっているのではないのでしょうか。ちなみに各媒体の1MB当たりの単価は

CD	2円
MO	30円
FD	100円
HD	150円

といった所でしょうか。およそね。およそ。
こうして見ると、HDDはまだまだ高いね。ま、そのスピードにそれだけの投資をしている訳だから、HDDを買う時には少しくらい高くてもシーク、転送速度の速い物を買うべきでしょう。

おっとCD-ROMの話に戻って、TOMOPPYさんが今回 CD-ROM Benchmarkを取ってくれましたが、この手の話って私は好きです。(^^) ただ、最近の98用周辺機器で気がつくのは、ドライブ自体のメーカーは数社に決まっていますがそれに箱と電源をくっつけただけのモノが多いな・・・と。これに少しでもドライブとかハードキャッチとかが付け加えられていればまだ良いのですが・・・

そういう意味では、CD-ROMドライブとかHDDのベンチマークは、ドライブ自体のメーカー名とかSCSI7タイプの種類とかを明示したい所です。(だんだん互換機的になっていく)

CD-ROMは最近 倍速とか2.2倍速とか言っていますが、どれが本当に速いのかそしてドライブの組み合わせはどうなのか調べたいですね。しかし実態はまだまだCD-ROMの利用者は想像以上に少なく、Benchmarkのためのツールもあまり無いようです。

U.S.Aで近々発売になるMS-DOSのニューバージョンではCD-ROMのキャッチが正式にサポートされるという話も聞きます。

私はこの秋のNECのCD-ROMドライブがどういう形で発表されるかが、今後の市場形成に大きな影響を与えるのではないかと思っています。

早くCD-ROM Benchmarkで盛り上がる日が来て欲しい。(^^)

P.S. TOMOPPYさんのBenchmarkで
>CD-ROM機種 パソコン名 読み取りアクセス時間(ミリ秒)
>ICM CD-500E PC9821 As 33MHz 340KB |
転送速度ですよね
~~~~ おちゃら  
(Tomopy)

## 第6回

## MS Visual Basic プログラミング入門

演習問題(2)の回答をこの会報に間に合わすべく心はあせっているが、本業のムシに悩まされて夜も落ち落ち眠れない日が続いているので、回答例の原稿が出来上がらない。今月は休みとします。どなたかの回答に期待して、次回に演習2と3を一挙に掲載とします。

今回の演題は、岩井さんからです。

岩井さん  
おねがい

## 演習4. 3ヶ月分のカレンダー表示。

カレンダーの作成です。Windowsアクセサリにもありますが、該当月しか出ない。前後月の3ヶ月分を表示したい。また、西暦年を列挙するか、メニューバーで列挙すると翌年、または昨年を表示、同様に月を列挙すると同じように前後する。

| MASUDA MAY 1993 |    |    |    |    |    |    |
|-----------------|----|----|----|----|----|----|
| S               | M  | T  | W  | T  | F  | S  |
|                 |    |    | 1  | 2  | 3  | 4  |
| 5               | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 12              | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19              | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26              | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |    |

(注) 作成をサボって、FREE SOFTからと思って、DLしたのは良いのだが、HDDユニットがダウンしてファイルが復活不能となった。内容を確認めずにあの世行きです。

(文責 河原)

#1062/1075 ハードウェア関連

★タイトル (WINDOWS1) 93/10/27 20:21 (64)

SCSI】SCSIの互換性 岡崎

★内容

11月号の日経バイトを読んでいたのですが、この特集記事は「SCSI, IDEのディスク増設再点検」というものでした。

このWindows SIGでも、SCSI-2の接続の問題の話題などが出たことがありますが、私も似たようなトラブルを経験しています。現在の機器構成は

パソコン

NEC PC-9821Ap

||

SCSI I/F                      SCSI-2 HD                      CD-ROMドライブ

TEXA HA55BSW ===<A>=== TEXA STATION 540 PRO ===<B>=== NEC CDR-74-1

CDR-74-1はNECが米国で発売しているCD-ROMドライブで、外見はPC-CD160と区別が付きませんが、Photo CDのマルチセッションとSCSI-2に対応しています(CDR-84-1にケースと電源を付けたもの)。と、以上のような接続です。

ところが、<A>のケーブルと<B>のケーブル、それにCDR-74-1の内蔵終端抵抗(on/off可)、CDR-74-1につけたエレコムの終端抵抗…、このそれぞれの組み合

わせでいろいろな挙動を起こすのです。

あるときは一見ちゃんと動いているのに、Norton Utilitiesのようなディスクユーティリティを使用したときにだけハングアップするとか、CDR-74-1を認識できないとか、場合によってはまったくどのドライブも認識できない組み合わせもあります。これに、SCSI I/FであるHA55BSWの3つの転送モードの組み合わせが入りますので、頭が痛くなってしまいます。

現在は「最適な組み合わせ」を見つけましたので快調に動いていますが、このいろいろな現象を不思議に思っていました。それが、日経バイト11月号の記事で氷解しました。

その記事によると、現在では、SCSIドライブにおける互換性の問題はほとんどなくなっているそうです。どのメーカーのドライブでも組み合わせで接続できる。問題は、むしろSCSIケーブルと終端抵抗にあるそうです。(今まで、私はSCSIケーブルなどどのケーブルでも同じだと思っていました)

正式なANSIのSCSI仕様では、SCSIケーブルのインピーダンスは100Ω±10%なのだそうですが、実際には50Ωくらいの抵抗の低い製品が多く出まわっているとか。遠因はNECがPC-9800シリーズで採用した

ハーフピッチのコネクタにあるそうです。このコネクタに合わせて、日本では太くてごつい本来の50pinアンフェノールのSCSIケーブルではなく、細くてやわらかいケーブルが流行したのです。ところが、つい2、3年前迄は、材質的な問題でハーフピッチ用の細いケーブルで100Ωを実現することが困難で、50Ω以下のケーブルが売られていたそうです。

従来のSCSIではそれでも大して問題はなかったのですが、CD-ROMドライブやMOのようなハードディスク以外の製品が接続されるようになり、転送タイミングの速いFastSCSIやSCSI-2が登場したことによって、ケーブルや終端抵抗の抵抗値のばらつきが問題になりはじめたらしいのです。

みなさんも、ケーブルや終端抵抗の品質に気を付けてください。

ちなみに、私の環境で安定している現在の組み合わせは、<A>のケーブルに最新型のSCSI-2用ケーブル（SCSI-2用…といっても要するに厳密に100Ωに合わせてあるケーブルということでしょう）、<B>にはいつ買ったかも覚えていない古いケーブル（3年以上前に購入していますので、問題の50Ωケーブルの可能性が非常に大きい）を使っています。

そうそう、ちょっと話題が違いますが、米国のNEC Technologiesは、これまで販売していたNEC MultispinシリーズのCD-ROMドライブ(CDR-84-1, CDR-74-1いずれもマルチセッションSCSI-2対応の縦置きも可能な倍速ドライブ)を全面的にモデルチェンジして、価格据え置き(\$500:約5万円)のまま、3倍速ドライブになりました。既に、現在販売されているモデルは3倍速ドライブです。

国内向けのPC-CD160はあいかわらずシングルセッション SCSI-1だというのに…。(^^;)

岡崎

#707/751 ソフトウェア関連

★タイトル (GQJ44269) 93/10/23 0:2 (10)

WX-WORD】12月3日発売(予定) Shin★

★内容

エー・アイ・ソフトのワープロ・ソフトが12月3日に発売されるようです。あわせてWX2-WinもVer.2.1にバージョンアップします。12月といえば一太郎のWindows版がでますいろいろ悩むところですね。わたしはATOK6とWXPにはじめて2つのFEPを交互に使ってきましたが今はATOK8に軍配をあげているのでATOK8のWindows版のほうに興味があります。でもWX-WORDのきによってはATOK8でWX-WORDというもありえるかな…。

Shin★

## 11月例会マイコンサロンからの話題

### 増田さんの大活躍。

今回、初参加の紅一点の方が、印刷関連のお仕事をされている紹介があり、増田さんがここぞとばかり、PC互換機とWindowsのアプリを使って、本業の印刷業務を遂行しておられることを熱心に説明されていた。これからの展開に拍手を贈ろう。

(Tomopy)

### 新年合宿のテーマ提案と「リテラシ」投稿に関するお願い。

増田さんが、本業を放棄し、夜も寝ずに作成した「Visual BASIC」の作品発表をお願いした。当日、その触りを拝見出来かけたが、残念ながら時間切れとなった。来春が楽しみだ。この他にも1件、「エケル」のMacの実用面での活用例を溝口さんにも発表をお願いをした。

(Tomopy)

## MS-WindowsへのCD-ROM装置用ドライブなどの組み込み。

某氏から、MS-Windowsへの組み込みは、CD-ROM盤のDISKを使ってインストール出来ないとの話が出たが、CD-ROM版ソフトを持たないユーザに取っては不愉快なことである。

3ヶ月前にインストールしたTomopyはそこで反論したのであるが、記憶が薄れていたもので、新たにCD-ROM版ソフトを持っていない方のために知らせます。

日電WindowsのDISK 2 5枚目にあるCD-ROMアプリを別に付属するマニュアルを参考にして、Windowsの入ったドライブへインストールをする。その後、Windowsを起動している「AUTOEXEC.BATやCONFIG.SYS」へ下記のことを付け加える。

```

「AUTOEXEC.BAT」
|
MSCDEXE /D:装置名
|
「CONFIG.SYS」
|
DEVICE = NECCD.SYS/D:装置名

```

上は、日電のCD-ROMを使った事例であるが、他社製品を使う場合もファイルやデバイス名を変更するだけである。

## 編集後記

師走の月となりました。今春は、景気回復かと期待されたが、予想に反して悪化した。けれども、当クラブの活動はかなり活発であった。その一つに、皆さんの協力により紙面も新たに会誌の再刊が順調に継続発行できたこと、あと一つは、大型TVを用いた視聴覚装置を用いて、Visual Basic言語などの学習会を持ち得たことである。来年は経済の回復を願い、会の発展と飛躍を期待し、且つ、会誌の充実を皆様へお願いを申し上げ、良い年をお迎え下さい。編集部一同の年末のご挨拶とします。

